



臨床腫瘍センターだより



第28号 (2010年11月17日)

～がん告知調査結果報告～

がん告知の検討を行うワーキンググループでは、2009年に「福島県立医科大学附属病院における医師のがんの病状説明に関する実態調査」を行いましたので、結果を報告します。

この調査の目的は、当院医師のがん告知や病状説明の実態を把握し、今後の病状説明のあり方を検討することです。16診療科医師276人を対象に調査を行い、142件(51.4%)の有効回答があり、内訳は内科系31.7%、外科系57.7%でした。本人に悪い知らせを伝えるか否かについて確認する相手は、患者本人が38.7%、家族が31.0%で、その手段として口頭確認が70%強でした。初回告知の対象は、患者本人が12.7%、患者と家族同席が78.9%、家族のみが2.8%でした。病状の進行に伴い家族の意向を尊重する傾向がみられました。また、約半数においては医師のみで説明が実施されていました。説明に困難さを感じる場面は、「正直でありながら希望を失わないようにすること」「積極的な治療を終了後の説明」「家族が知っていて本人が知らないときの説明」でした。



現在、がん告知マニュアルを作成中ですが、医師の他に多職種が関わり、当院の実態に即した具体的方策を検討中です。また家族のパターンリズムを尊重する傾向がみられ、医療者と患者・家族双方の意識の変容を進める働きかけも重要であると考えられます。最後に、本調査にご協力頂いた医師の皆様にご感謝を申し上げます。

WG代表 がん看護専門看護師 三浦 浅子

～第4回 磐梯熱海オンコロジーセミナー受講生募集～

日時：平成22年12月11日(土)～12日(日) 1泊2日短期集中セミナー

場所：磐梯熱海温泉「浅香荘」

対象者：研修医・若手医師・大学院生・医学部学生、がん医療に携わるコメディカル…20名

目的：がん治療に関する基礎知識を習得する / 参加費：2,000円

講義内容：がん薬物療法・腫瘍免疫学・胃癌・肺癌・緩和医療・放射線治療・制吐療法・チーム医療

※詳細・申し込みに関する問い合わせは、がんプロフェッショナル養成支援室(内線2661)までご連絡下さい。締め切りは11月26日(金)です。

〈10月外来化学療法センター利用状況〉 利用者数 263名

肝胆膵・移植外科	29	血液内科	3
消化管外科	35	婦人科	21
乳腺・内分泌・甲状腺外科	87	泌尿器科	14
呼吸器内科	26	小児科	20
呼吸器外科	11	皮膚科	3
消化器内科	14	合計	263

臨床腫瘍セミナー開催案内

日時：平成22年12月14日(火) 18時～19時

場所：第二臨床講義室

演題：「院内がん登録について」

講師：独立行政法人国立がん研究センター
がん対策情報センター
がん情報・統計部 院内がん登録室長
西本 寛 先生

※大学院生は共通必修科目(規定の8)に該当します

Cancer Board開催案内

11月29日(月) 18:00～ 頭頸部

19:30～ 悪性リンパ腫

医療従事者を対象に、各臓器別に診療科横断的な腫瘍カンファランスを定期的に開催しております。医療従事者であればどなたでも出席できます。